

「さわやか軽井沢ふるさと 寄附金」活用報告書

(令和元年度版)

今回の「さわやか軽井沢ふるさと寄附金活用報告書」は、平成 30 年中に皆様から頂いた寄附を令和元年度に配分し、活用させていただいた報告となります。(平成 30 年中の寄附金額と活用額との相違は、前年度までの留保分と運用益分を加えているためです。)

平成 30 年中 寄附金内訳 (令和元年度に活用)

(円)

メニュー	指定先	件数	寄附金額	活用額
守ろう豊かな自然		12 件	650,000	650,000
育もう教育と文化	I S A K	377 件	366,467,000	348,143,000
	軽井沢高校	3 件	210,000	351,000
	軽井沢中学校		0	171,000
	旧三笠ホテル	1 件	30,000	30,000
	文化施設等	4 件	11,600	12,000
	指定なし	2 件	40,000	18,652,000
	合計	387 件	366,758,600	367,359,000
増やそう健幸人		3 件	90,000	90,000
おまかせ		13 件	2,705,000	2,710,000
合計		415 件	370,203,600	370,809,000

※ 教育応援分については、95%は指定校へ、5%は町教育振興事業へ配分されます。

※ 旧三笠ホテル・文化施設等は保存・補修の事業へ配分されます。

令和 2 年 4 月作成

さわやか軽井沢ふるさと寄附金活用メニュー

寄附金活用メニュー	主な活用内容
守ろう豊かな自然	自然環境の保全・景観整備・野生動物との共生・ごみ対策・地球温暖化対策 等
育もう教育と文化	子どもの健全育成・国際交流・芸術活動の振興・文化施設保存・補修 等 「教育応援分」・・・町内学校を指定して応援 「文化施設保存・補修」・・・国の重要文化財である旧三笠ホテルや町の文化施設等の保存・補修
増やそう健幸人	健康促進・高齢者や障がい者のいきがいづくり・病院機能の充実 等
おまかせ	寄附金の活用を指定しません

※ 教育応援分については、95%は指定校へ、5%は町教育振興事業へ配分されます。

※ 旧三笠ホテル・文化施設等は保存・補修の事業へ配分されます。

「さわやか軽井沢ふるさと寄附金」で、軽井沢町に対し貴重なご寄附をいただき誠にありがとうございました。

今回、皆様からいただきました貴重な志である寄附金の活用内容につきまして報告させていただきます。

今後とも軽井沢町へご支援を賜りますようお願い申し上げます。



下記は、令和元年中の寄附金内容です。

(令和2年度に活用させていただきます。)

(円)

メニュー	指定先	件数	寄附金額
守ろう豊かな自然		13 件	2,475,000
育もう教育と文化	I S A K	394 件	379,185,000
	軽井沢幼稚園	5 件	90,000
	森のようちえんぴっぴ	13 件	1,505,000
	軽井沢高校	8 件	205,000
	軽井沢中学校	1 件	5,000
	南保育園	1 件	10,000
	旧三笠ホテル	3 件	30,000
	文化施設等	2 件	13,000
	指定なし	2 件	30,000
	合 計	429 件	381,073,000
増やそう健幸人		4 件	75,000
おまかせ		18 件	1,050,000
合 計		464 件	384,673,000

※1 教育応援分については、95%は指定校へ、5%は町教育振興事業へ配分されます。

※2 旧三笠ホテル・文化施設等は保存・補修の事業へ配分されます。

守ろう豊かな自然

鳥獣対策経費 650千円 (環境課)

軽井沢町の象徴である浅間山には、四季折々の素晴らしい豊かな自然が広がっています。浅間山周辺には国指定浅間鳥獣保護区、長野県鳥獣保護区が指定されており、多くの野生動物が生息しています。

町では野生動物たちとの共生を目指しながら、人身事故等が発生しないよう様々な対策をしています。

ツキノワグマ対策では、捕獲されたクマに発信器を装着した個体管理、クマが生活区域内に近づかないよう、ベアドッグによる追払い対応や学習放獣、出没情報への対応、誘引物を除去する指導等を行っています。

アライグマ等対策事業では、通報を受け、野生動物による屋根裏などへの侵入被害調査や、アライグマ・ハクビシン・アメリカミンクの捕獲駆除を実施しています。中型野生動物は、適切に管理されていない家屋や空き家に棲みつく場合がありますので、家屋の適正な管理をお願い致します。

また、アライグマ・アメリカミンクは特定外来生物に指定されており、飼育・放獣が禁止されています。見かけた際には連絡をお願い致します。

ニホンジカ・イノシシ対策として、町猟友会の協力を得ながら、町内全域の捕獲駆除を継続実施しています。

ニホンザル対策は、町の有害鳥獣専門員2名とサル追払い対策員5名により、365日常に群れの行動を監視し、町北部の国有林内への追い払いを実施しています。

町では、ツキノワグマの出没情報やニホンザルの位置情報をメール配信サービスとホームページ「さるくまなびねっと」で情報提供しておりますので、ご利用ください。



ベアドッグのタマ（左）とナムック（右）

育もう教育と文化

教育応援分 348,143 千円 (エイト・ワールド・カレッジ ISAK ジャパン)

UWC ISAK は世界中の高校 1～3 年生を対象とした、国際社会で変革を起こせるようなチェンジメーカーを育成する全寮制国際学校です。

2017 年 6 月に初めての卒業生を送り出し、同年 8 月には「世界の平和と持続可能な未来を実現するために、教育の力で世界の人、国、文化をひとつにする」ことをミッションに掲げ、50 年以上の歴史を持つ国際的な民間教育機関である United World College に正式に加盟しました。

今は世界 83 ヶ国から集まった 200 名が、国籍だけでなく社会経済的にも様々なバックグラウンドの違いを乗り越え、たくさんの刺激を与えています。

ふるさと納税を通じたご支援のお蔭で、半数以上の生徒に対してそれぞれの経済状況に応じた奨学金を給付することが出来ました（ふるさと納税を含む全体では、約 7 割の生徒に奨学金を給付）。能力とやる気があり、強い目的意識をもつ全ての若い人達にチャンスを与えられる学校になるために、皆様からお預かりしたご寄付は大切に奨学金基金として使わせていただきます。

皆さまの応援のお蔭で、これまでできなかったことに取り組んだり、新しいアイデアを形にするような試みに挑戦できるようになってまいりました。これからも、地域社会に貢献しながら、新たなフロンティアに臨み、時代を切り拓いていく生徒たちを育成できますよう、たゆまぬ努力を重ねてまいります。これからもどうぞよろしくお願い致します。



育もう教育と文化

教育応援分 351 千円 （軽井沢高等学校）

軽井沢高等学校では、教職員・生徒、塾スタッフの暖房用として、同窓会館1階学習塾の2部屋にストーブ用煙突を計2本設置し、塾事務室のカーテンを保温性・遮光性の高い物に付け替え、冬季の暖房対策を整えました。

また、学校事務処理のより一層の効率化を図るため、新たにカラーコピー機1台を購入しました。これにより、カラーコピー、写真データの印刷、書類のPDF化を迅速かつ容易に行えるようになりました。

今後も引き続き、心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成を目指してまいります。



ストーブ用煙突



塾事務室のカーテン

育もう教育と文化

教育応援分 171 千円 (軽井沢中学校)

軽井沢中学校の新校舎は絨毯が敷かれた教室が多く、また、教室も広いことから、大型の掃除機を補充し、清掃の充実を図りました。

さらに、理科教材の老朽化や個数の不足に伴い、各班で実験できるよう補充を行いました。

今後も引き続き、心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成を目指してまいります。



理科教材「簡易真空槽」

育もう教育と文化・おまかせ

18,652 千円 こども教育課（教育応援分）

教育振興事業 軽井沢高等学校公設塾支援経費（19 千円）
小学校英語指導助手経費（13,743 千円）
中学校英語指導助手経費（4,590 千円）
放課後子どもプラン事業経費（運用益分含む）
（ 300 千円）

2,710 千円 こども教育課（おまかせ分）

教育振興事業 小・中学校 TT・講師報酬（運用益分含む）
（2,710 千円）

軽井沢高等学校公設塾支援事業では、令和元年7月に当町が設置した「軽井沢町学習センター」において、軽井沢高校と連携しながら、生徒に対する受験指導だけではなく、課題探求学習や進路に対する幅広い支援を行いました。

英語指導助手配置事業においては、各小中学校に外国人の英語指導助手を1名ずつ配置し、小学校では英語の体験的な授業を通して、また、中学校では英語授業の中で発音や会話練習を行い、児童生徒が生きた英語に継続的に触れることによって、英語能力の向上を図りました。

放課後子どもプラン事業では、児童館を利用し、小学生の放課後に安心・安全な居場所を確保するとともに、宿題等の学習活動や、体験教室としてのスポーツ及び文化活動、地域の大人や異年齢の子どもたちとの交流活動・昔遊び・生徒指導を行いました。

今後も引き続き、心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成を目指してまいります。



育もう教育と文化

42 千円 (生涯学習課)

教育振興事業 文化財保護維持管理経費 (運用益分含む)
(12 千円)

重要文化財修理・防災事業経費 (30 千円)

教育委員会生涯学習課文化振興係では、文化財の指定・保護や公開などの事業を行っています。

「室生犀星記念館」の改修工事は令和元年 7 月に無事完了しました。改修にあたっては、室生犀星が使用していた当時の部材などを出来るだけ残しながら保存工事に努めました。

トタン葺きの屋根の下には、当時の柿葺きが残されており、残せる部分はそのままに、上から多くの文化財の修復でも使われている銅板で葺き替えました。

「重要文化財・旧三笠ホテル」の修理工事は、1 月に本契約となり、耐震補強を含めた大規模な保存修理工事が始まりました。

郷土の重要な文化財の保存と価値の向上に努め、広く公開するため慎重に工事を進めてまいります。

改修工事は令和 6 年 3 月までの予定です。



室生犀星記念館



重要文化財・三笠ホテル

保健福祉複合施設「木もれ陽の里」健康増進部門では、水中歩行用プール・運動トレーニング室・浴室を整備しています。ひとりでも多くの方に健康でいきいきとした生活を送っていただくため、利用する方それぞれに合った生活習慣病予防、関節疾患の予防と改善、介護予防のための様々なプログラムや個別指導を用意し、運動の増進と健康増進を支援しています。運動プログラムや個別指導は、理学療法士や健康運動指導士から個々に合った専門的な運動の支援を受けることができます。また、浴室は温泉水を利用しており、どなたでもお気軽に入浴していただけますので、心身のリフレッシュにぜひ利用してください。

